

はじめに(おことわり)

銚子水産事務所海匠～大網白里町の普及活動を担当している加藤です。この万祝歳時記は14年度発行4号目となります。今年度のものを読み返していると、あることに気づきました。何と、私の担当地区がほとんど掲載されていない!!!
これはまずい。何とか記事をと探していたら、出てくるわ、出てくるわ。これも私が、さぼって怠けていたせいなのです…。本当に申し訳ありません。でも、銚子地区の情報って、重要なネタが多いので、南の情報を出しそびれてしまってますよね～。
そこで、今回、南からの逆襲ということも兼ねて、

「海匠～白里スペシャル」

と銘打ち、海匠漁協～白里漁協までで行われている研究や活動を中心に紹介していきます。
銚子地区の漁業者の皆さん、本当にごめんなさい。でも次号の万祝歳時記では、また通常通り、銚子～大網白里町までの様々な記事を書きますので、今回だけは勘弁の程を。
それでは、早速行ってみましょうか!!!



第49回千葉県水産業青壮年女性活動実績発表大会について



平成15年1月16日、「第49回千葉県水産業青壮年女性活動実績発表大会」が千葉県中小企業会館で開催されました。
当管内では、海匠漁業協同組合青年部副会長鈴木大作氏が、

「サトウガイ(アカガイ)の共同出荷に取り組んで」

について、発表しました。
その結果、青壮年部門で優秀発表に選ばれ(女性部門は、勝浦地区の「夫婦船でイセエビ漁へ」)、3月5、6日に開催される全国大会に推薦されました(全国大会の結果は次号にて)。
海匠漁協青年部では、20年ぶりに資源が復活したサトウガイについて、価格の低い状態を打破すべく、築地への共同出荷を平成13年から開始しました。活動の結果、浜値が200円以上上昇し、貝捲船団全体の収入を、2,000万円近く上昇させました。
今後も、青年部では共同出荷先をさらに増加させ、九十九里地域で獲れるサトウガイを全国にPRしていく予定です。

海 匠 九十九里 白 里

九十九里浜の研究活動等について

今年度、ほとんど紹介できませんでした海匠～白里までの研究活動について報告しますm(。_。)_m。

1. 海匠漁協青年部の挑戦

～サトウガイの種苗生産試験について～
～海匠漁業協同組合青年部～

海匠漁協青年部では、7月から10月にかけて、今年で3年目となるサトウガイの種苗生産試験に挑戦しました。また、サトウガイの産卵時期についても調査を行いました。
今回は、十分な量の受精卵が確保でき、孵化後、40日間の飼育に成功しました。写真は、D状幼生段階のサトウガイを顕微鏡で観察したものです。
でも、目に見える大きさの稚貝まで育てることができず、試験を終了しました。来年は、得られたデータを基に、新たに餌の工夫などを行って挑戦する予定です。産卵時期については、夏頃ということが分かりました。
サトウガイは20年ぶりに復活した資源です。夏頃は管理をしながら大切に漁獲していきましょう!



(写真)サトウガイのD状幼生(100μm)

2. 二枚貝に関する先進地視察研修について
～九十九里町漁協貝捲船団～

九十九里町漁協貝捲船団が、1月24日に二枚貝に関する先進地として、茨城県の貝類仲買業者と栽培漁業センターの視察研修を実施しました。
貝類仲買業者には、砂を利用した畜養施設の見学、蓄養技術の研修、栽培漁業センターでは、チョウセンハマグリ、ホッキガイの種苗生産技術について研修を受けました。
畜養施設の見学では、今までにない砂を敷き詰めたプールでの蓄養技術を導入していたため、研修生全員熱心に質問をしていました。また、栽培漁業センターの研修では、チョウセンハマグリ、ホッキガイの種苗生産は行われておりませんが、他魚種の種苗生産の見学や、二枚貝の餌の生産技術を学ぶことができ、充実した研修となりました。



3. 大きく育てよ! チョウセンハマグリ!!!
～チョウセンハマグリ種苗放流事業について～
～海匠漁協・九十九里町漁協・白里漁協～

海匠漁協、九十九里町漁協および白里漁協では、今年度もチョウセンハマグリ種苗放流事業が実施されました。この事業は、九十九里沿岸の重要水産資源である、チョウセンハマグリを茨城県から購入し、各漁協の地先に放流しています。その後、適切な資源管理を行い、計画的に漁獲していくことを目的としています。
最近、九十九里地域のチョウセンハマグリ漁獲量は、やや減少傾向です。資源を上手に利用して、持続した漁獲を心がけましょう。



4. ナガラミ資源の復活を目指して①
～鴨川産ナガラミの移植放流事業について～
～九十九里町漁協・白里漁協・長生漁協～

ここ数年、九十九里地域では重要水産資源であるナガラミ(ダンベイキサゴ)が殆ど漁獲されていません。一方、鴨川・天津小湊地域では、ナガラミが毎年発生しているのですが、買い手が少ないため、単価が上がらず、ほとんど漁獲されていません。
そこで、九十九里町・白里・長生漁協の貝捲漁業者が、鴨川産のナガラミを購入し、地先に移植放流する事業が平成15年1月12日実施されました。
この事業の目的は、
①鴨川産のナガラミに、卵を産んでもらい、九十九里地域の水産資源の増加を図る。
②鴨川産のナガラミは、最近成長不良の傾向があるため、九十九里地域に移植することにより、生育状態の変化を調査する。
の2点です。
今後、移植後の調査を行い、ナガラミ資源の増減、鴨川産ナガラミの生育状況について、明らかにしていく予定です。
追跡調査の結果が分かり次第、万祝歳時記に掲載していきます。



ご意見やご感想、情報提供がありましたら、銚子水産事務所改良普及課まで連絡して下さい。
連絡先: 電話 0479-22-8397
FAX 0479-22-9168